



個人投資家向け説明会資料

2016年9月8日（徳島）
Jトラスト株式会社



- 1. 会社紹介**
- 2. Jトラストの“強み”**
- 3. 事業紹介**
- 4. 2017年3月期 第1四半期連結業績**
- 5. 将来の利益構造**
- 6. 投資家の皆様への取り組み**

免責事項

- ・本資料に記載された将来情報などは資料作成時点での当社の認識、意見、判断または予測であり、その実現を保証するものではありません。
様々な要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。
- ・また、説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供のみを目的としたものであり、当社または子会社が発行する有価証券への投資を勧誘、助言、推奨するものではありません。
- ・本資料において「親会社株主に帰属する当期純利益」は「当期純利益」と表示しております。

鳴門のうず潮と当社ロゴ



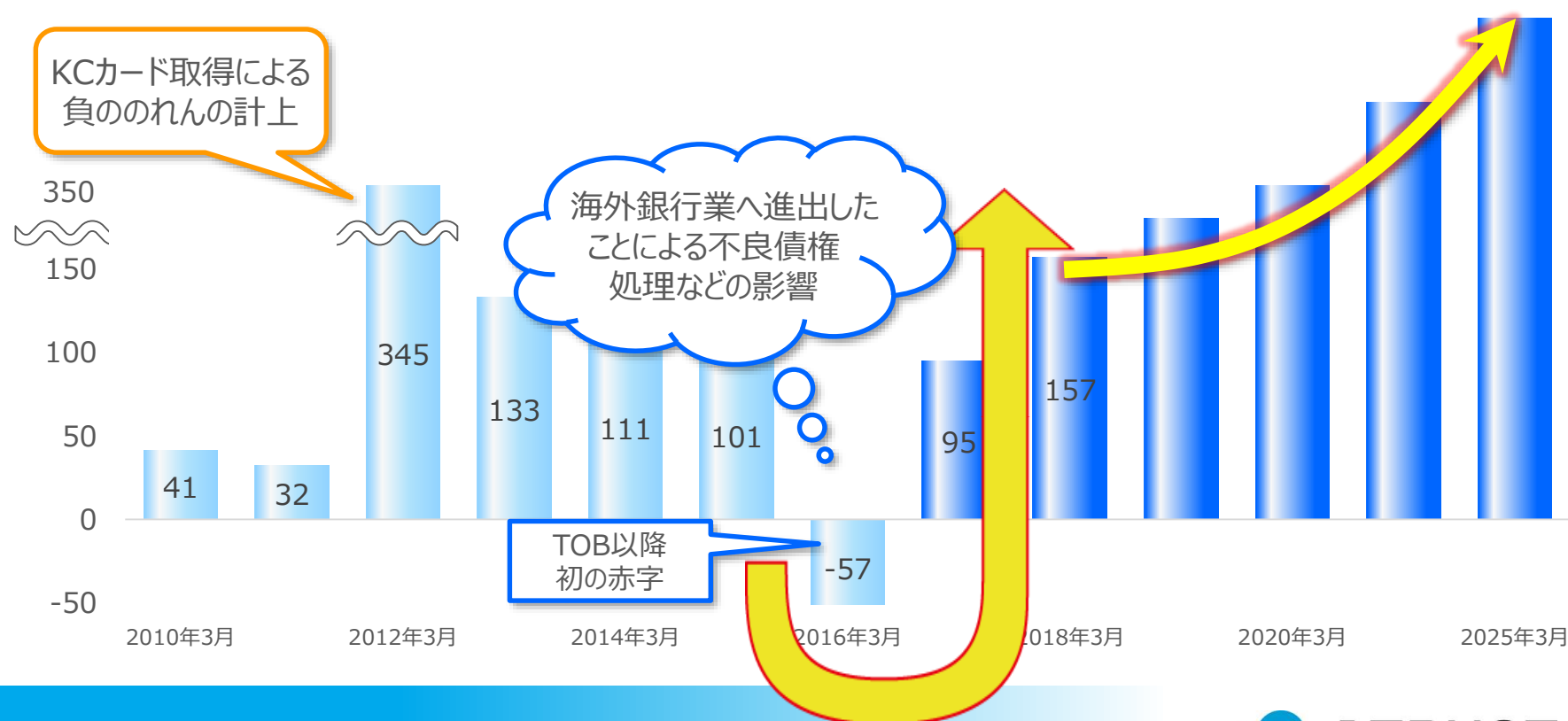
はじめに

一、安い時に買う

J字回復後、持続的な成長を目指す

単位：億円

当期純利益の推移イメージ



1. 会社紹介

グループビジョン

 **J TRUST**
 SoftBank  facebook.
Google Microsoft etc..

 J TRUST
 SoftBank  facebook.
Google Microsoft

**既成概念にとらわれない
ファイナンシャルサービスを!!**

総資産は120億円から5,000億円超

単位：億円



営業収益は32億円から755億円に

単位：億円



株価は21円から785円に



※過去の株価は調整後（分割等考慮）

既成概念にとらわれない金融サービスグループ

なんと
8年間で

株価 **37倍** !

総資産 **42倍** !

営業収益 **24倍** !

さらに !

ライツ・オフリングで調達した **976億円** は **国内最多額** !
(2013年7月)

既成概念にとらわれない金融サービスグループ

韓国も…

わずか3年で、営業資産が7倍に！

ライセンス取得から1週間で銀行をオープン！

韓国初となる消費者金融事業を貯蓄銀行へ統合！

ヨーロッパ大手のSC※グループから貯蓄銀行とキャピタル会社※を取得！

韓国初となる貯蓄銀行の地上波CMを開始！

既成概念にとらわれない金融サービスグループ

そしてインドネシアでは

商業銀行の株式100%取得



経営の
スピード化

日本・韓国で構築したノウハウの導入により

黒字化に向け、再生手続きを進行中

Jトラストの歴史



2. Jトラストの“強み”

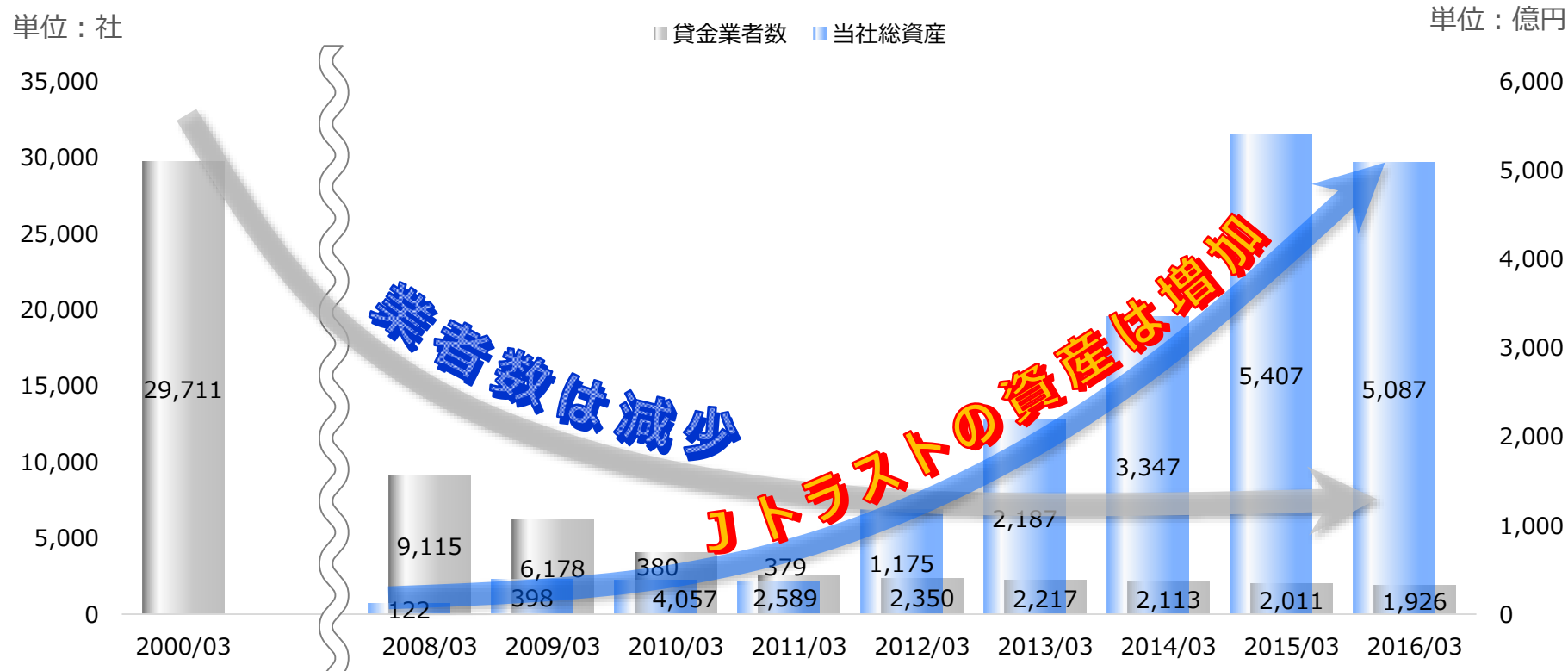
一、不況に強い

Jトラスト

一、徹底的な逆張り

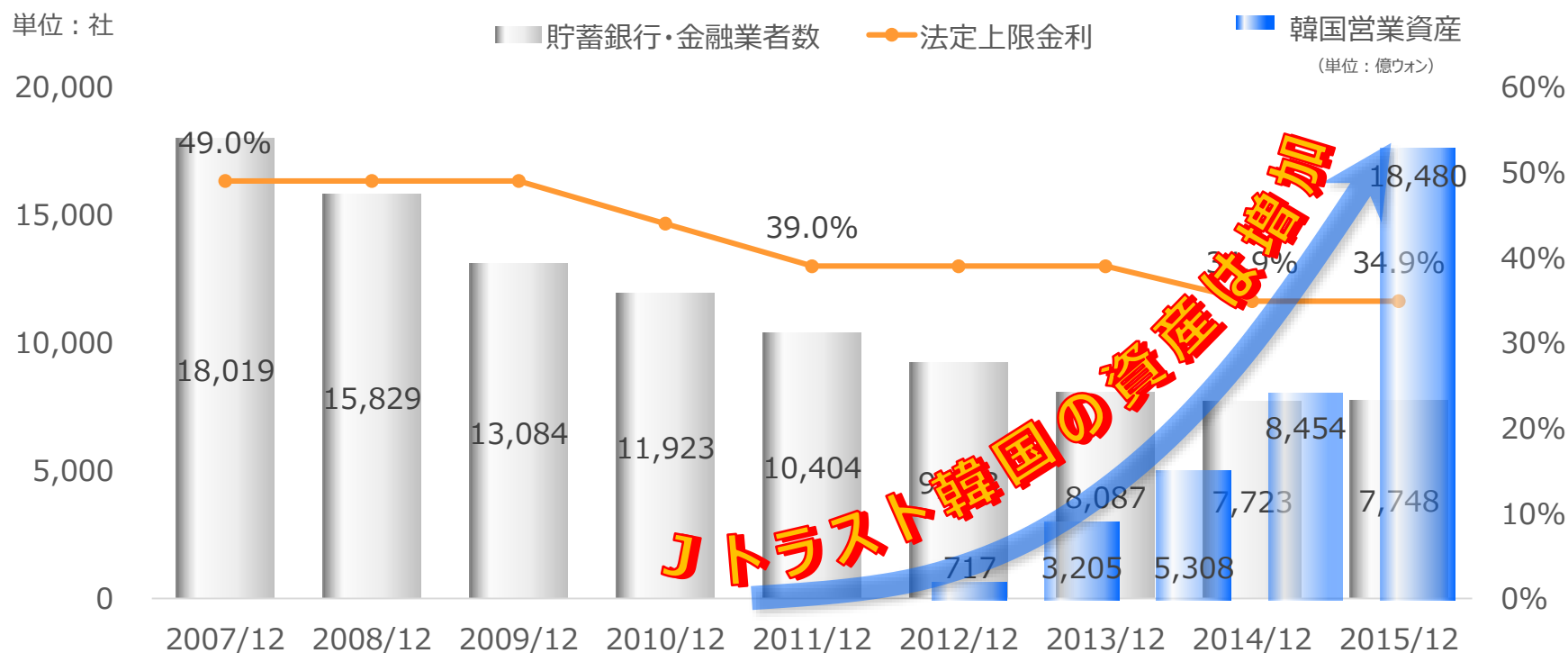
徹底的な“逆張り”のM & A

日本における貸金業者数と当社総資産の推移



韓国でも徹底的な“逆張り”

韓国における貯蓄銀行および金融業者数の推移と金利の推移



成長を支える“Jトラストテクノロジー”！



① 目利き力

M & Aを実施したのち、グループアウトした会社からのリターン

 **KC Card** IRR 83%

現：ワイジェイカード（ソフトバンクグループ）

 **LCD GLOBAL INVESTMENTS** IRR 42%

シンガポール株式市場上場会社

HICAPITAL IRR 5%

元：現代（ヒュンダイ）グループ貸付会社

 IRR 18%

株式会社 エーエーディ

現：北斗印刷
※健康コーポレーション子会社
（ライザップ）

 IRR 28%
NEOLINE CREDIT

投資リターン率

35%

② オペレーションノウハウ（人間力）



③－1 高い資本力

自己資本 **1,590億円**

自己資本比率 **31.7%**

手元資金 **1,069億円**

③-2 高い資本力

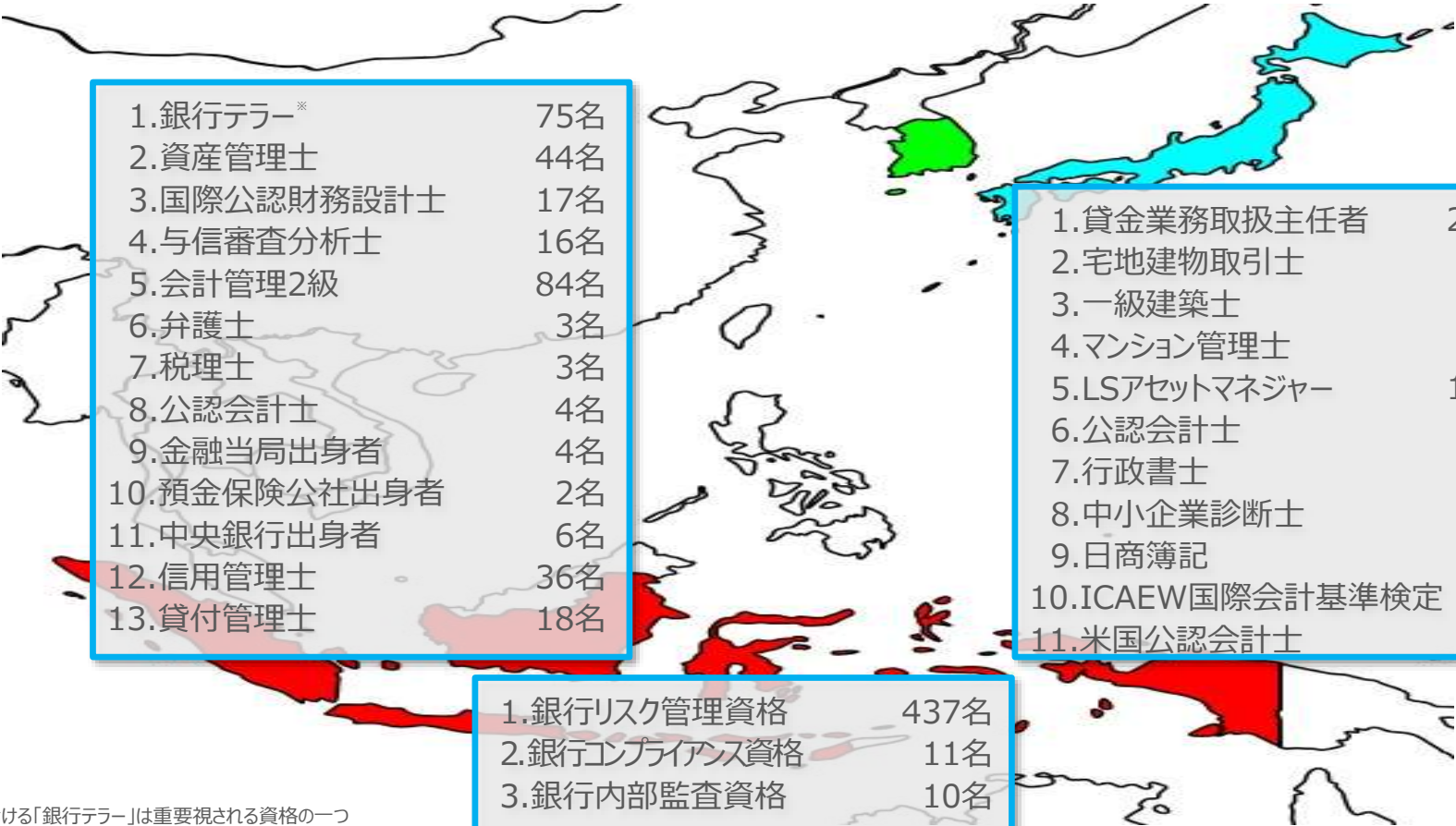
順位	コード	銘柄名称	自己資本比率
1	8789	フィンテック	65.40%
2	8771	イー・ギャランティ	56.70%
3	8423	アクリーティブ	34.10%
4	8508	J トラスト	32.10%
5	8572	アコム	27.50%
6	8591	オリックス	21.00%
7	2388	ウェッジHD	19.80%
8	8515	アイフル	18.20%
9	8500	ラフラス	16.50%
10	8253	アイフル	16.40%
11	8500	ラフラス	13.00%
12	8586	日立キャピタル	10.90%
13	8424	芙蓉総合リース	9.80%

その他金融部門における
自己資本比率は
4位にランクイン！（23社中）

順位	コード	銘柄名称	自己資本比率
1	8410	セブン銀行	20.10%
2	8303	新生銀行	8.80%
3	8304	あおぞら銀行	8.80%
4	8385	伊予銀行	8.70%
5	8355	静岡銀行	8.20%
6	8359	八十二銀行	8.00%
7	8388	阿波銀行	7.90%
8	8369	京都銀行	7.90%
9	7184	富山第一銀行	7.60%
10	8527	愛知銀行	7.40%
11	8360	山梨中央銀行	7.10%
12	8358	スルガ銀行	6.80%

高い専門性と知識を有する役職員がグローバルに活躍

専門資格取得者の状況



1.銀行テラー*	75名
2.資産管理士	44名
3.国際公認財務設計士	17名
4.与信審査分析士	16名
5.会計管理2級	84名
6.弁護士	3名
7.税理士	3名
8.公認会計士	4名
9.金融当局出身者	4名
10.預金保険公社出身者	2名
11.中央銀行出身者	6名
12.信用管理士	36名
13.貸付管理士	18名

1.貸金業務取扱主任者	238名
2.宅地建物取引士	59名
3.一級建築士	1名
4.マンション管理士	2名
5.LSアセットマネジャー	114名
6.公認会計士	4名
7.行政書士	5名
8.中小企業診断士	2名
9.日商簿記	47名
10.ICAEW国際会計基準検定	1名
11.米国公認会計士	4名

1.銀行リスク管理資格	437名
2.銀行コンプライアンス資格	11名
3.銀行内部監査資格	10名

※ 韓国における「銀行テラー」は重要視される資格の一つ

経験豊富な経営陣

日本



飯森 義英 取締役 執行役員	明珍 徹 常務取締役 執行役員	藤澤 信義 代表取締役社長 最高執行役員	千葉 信育 代表取締役専務 執行役員	足立 伸 取締役専務 執行役員
黒川 真 取締役 執行役員	浅野 樹美 常務取締役 執行役員	常陸 泰司 取締役 執行役員	西川 幸宏 取締役 執行役員	

東南アジア



日本の財務省
にて26年勤務

プレジデント
コミッショナー（会長）



シンガポールや日
本のの上場企業に
て取締役を歴任

コミッショナー



インドネシア中央
銀行にて執行役
員等要職を歴任
30年の銀行キャ
リア

コミッショナー



インドネシアの
銀行業界で
25年の経験

代表取締役社長



BNP銀行元頭取
2013年「インドネ
シアベスト頭取賞
2013」を受賞

取締役



インドネシアを含
むアジア4か国に
おいて日本の大
手銀行での勤
務経験を持つ
IT/内部管理の
プロフェッショナル

取締役

韓国



日本の金融業界に23年
間勤務。金融、クレジット
カード会社の代表取締役
を歴任

Jトラスト代表取締役
JTキャピタル代表理事
JT親愛貯蓄銀行理事



韓国銀行の主要部局
および各種金融機関
のマネジメントを歴任

J T 親愛貯蓄銀行
代表理事



日本の銀行出身
日本において金融会
社の取締役を歴任

JT親愛貯蓄銀行理事
JT貯蓄銀行理事



韓国において貯蓄銀行
および金融会社のマネ
ジメントを歴任

J T 貯蓄銀行
代表理事



日本と韓国において
金融会社および貯蓄
銀行のマネジメントを
歴任

T A 資産管理
代表理事



金融監督院監督総括局
局長および人材開発室教授

JT親愛貯蓄銀行
常勤監査委員



新韓銀行の営業
本部長出身
2005年には韓国の
産業褒賞を受勲

J T キャピタル
代表理事



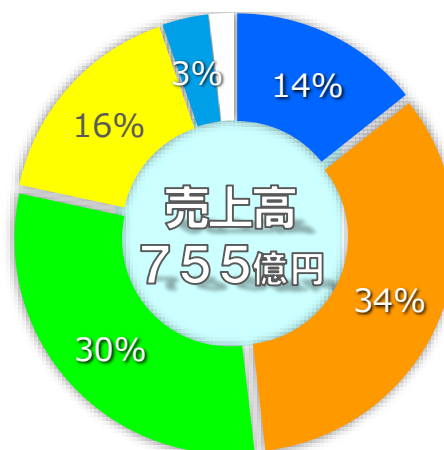
金融監督院副局長
韓国銀行課長

TA資産管理
監査

3. 事業紹介

国内/韓国/東南アジアで事業を推進

投資事業
26億円



国内金融事業
108億円



東南アジア金融事業
123億円



非金融事業
228億円



韓国金融事業
255億円



収益の柱は、信用保証事業と債権回収事業

信用保証事業



債権回収事業



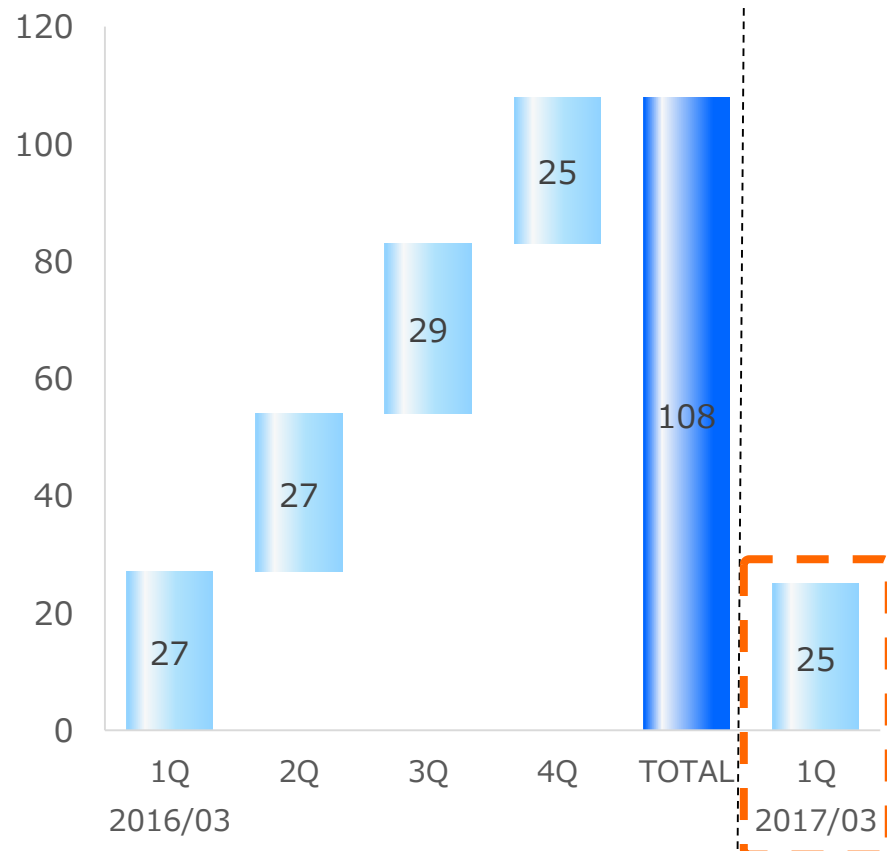
クレジットカード事業



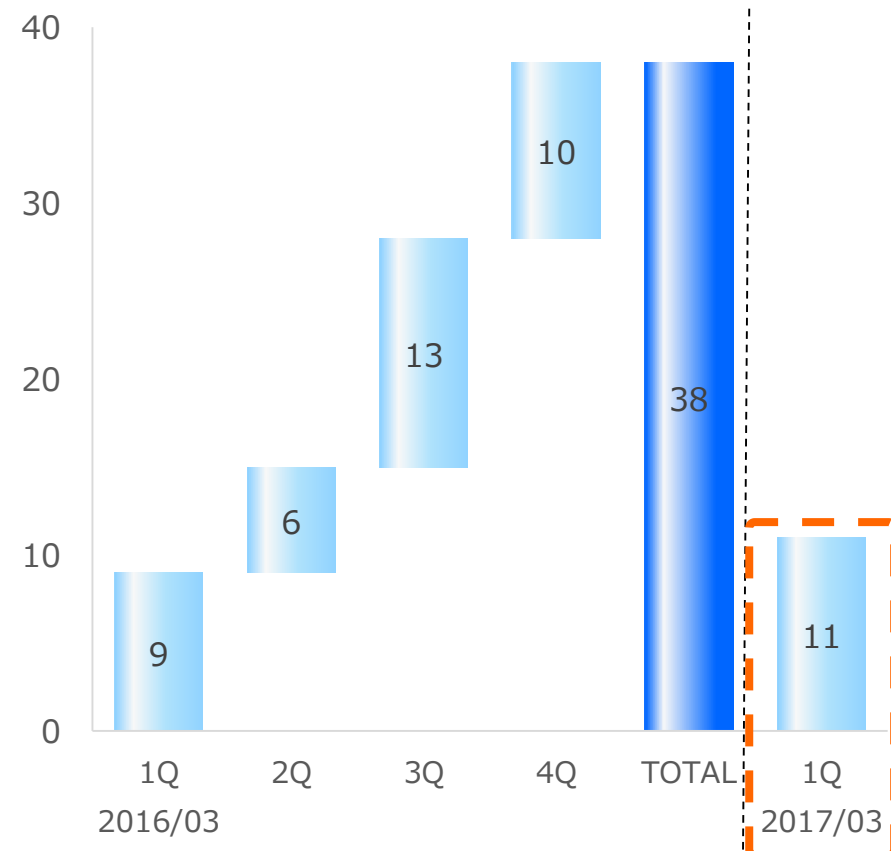
安定した収益・利益を計上

単位：億円

営業収益



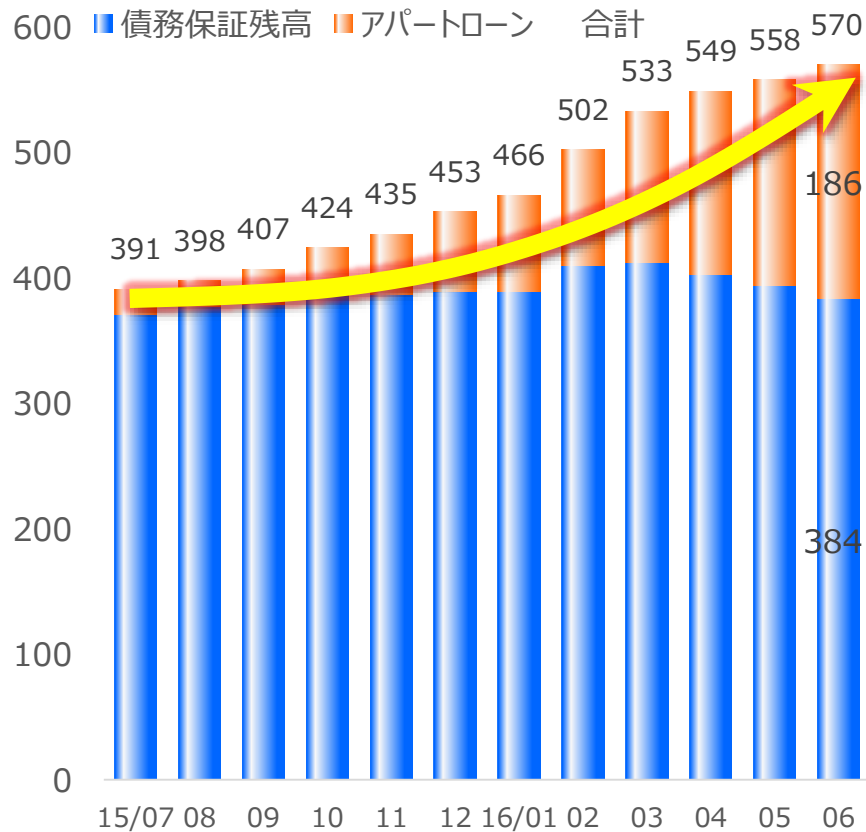
営業利益



信用保証事業は順調に伸長

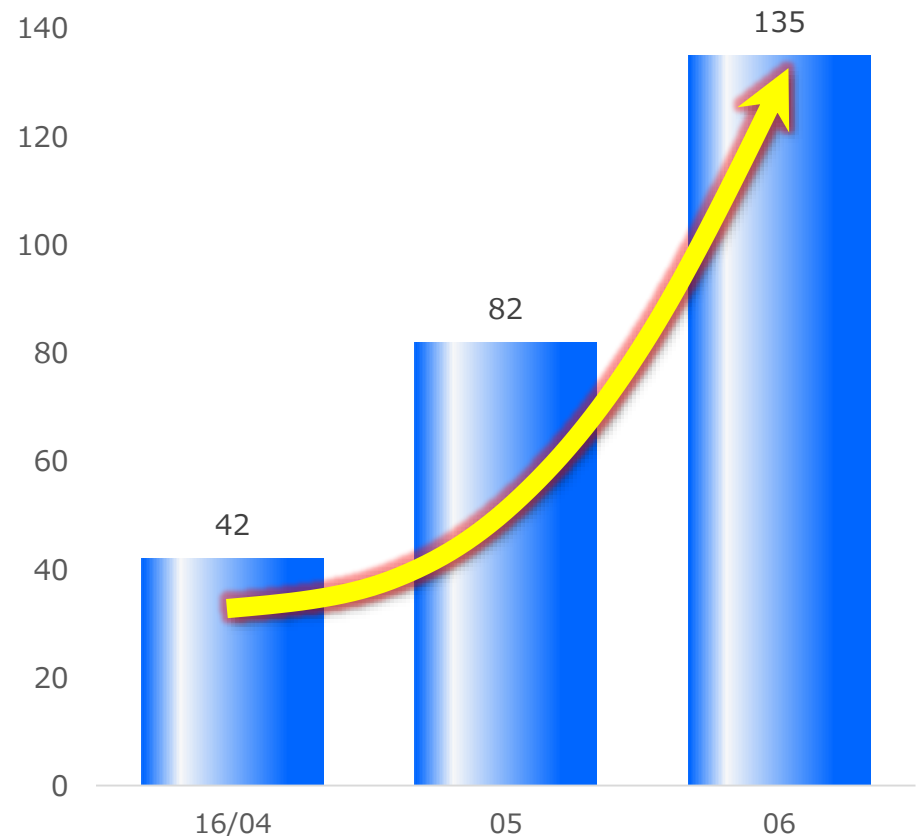
日本保証における保証残高の推移

単位：億円



アパートローン本承認累計金額

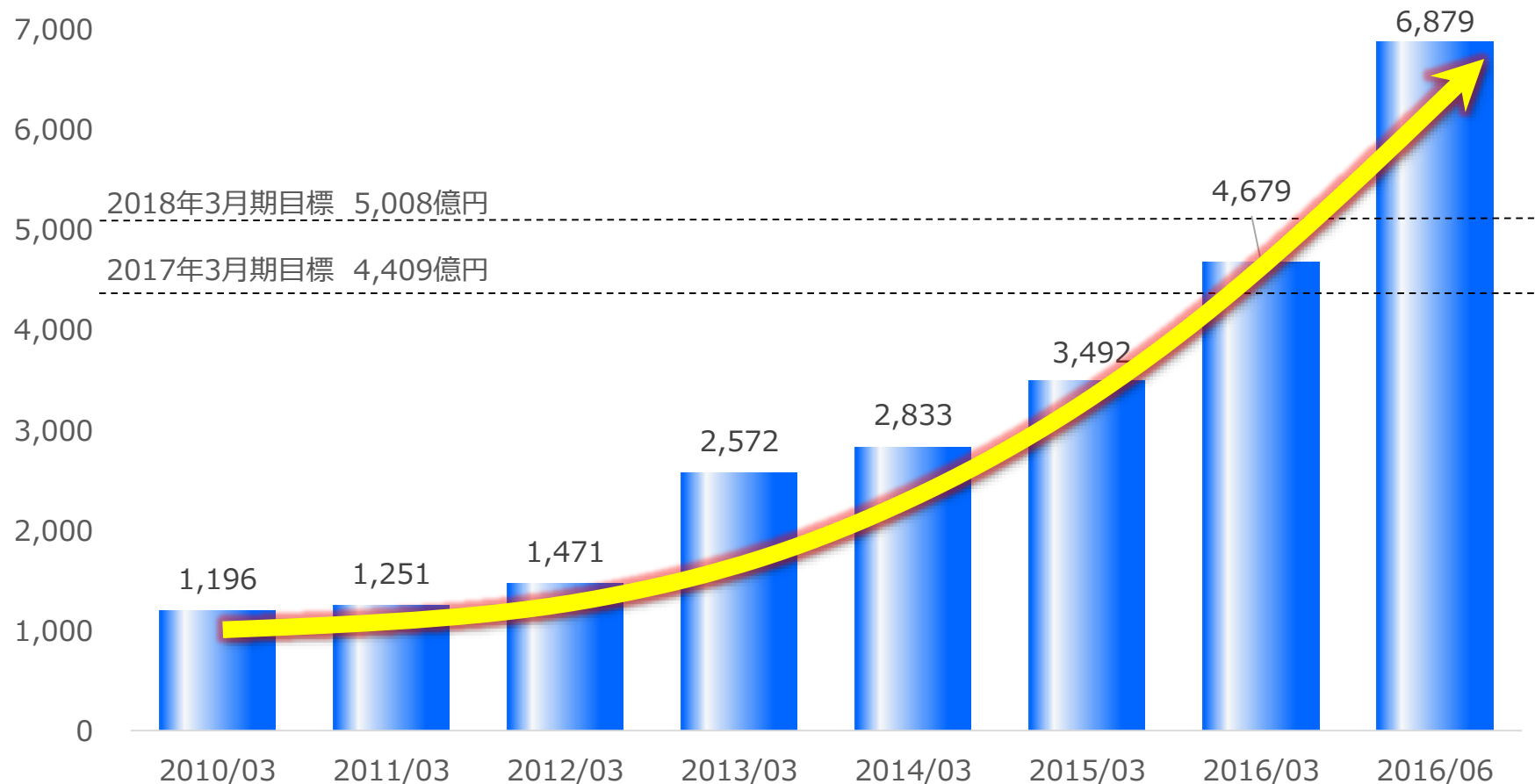
単位：億円



目標以上に残高の積み上げが実現

請求債権残高の推移

単位：億円



ビットコイン取引所「J-Bits」を6月にスタート

「お客様に安心してご利用いただける取引所づくり」を基本にシステムを構築



スマートフォン対応の**ネイティブアプリ**※を業界で初めて導入
ビットコイントレーダーから「**最も取引に適したアプリ**」との評価を得る



取引画面



ネイティブアプリ



コインポータルサイト

※ネイティブアプリ：端末内で全て完結できるアプリケーション

J-Bitsアプリでは、取引、チャート、市況ニュース、ウォレットなど、取引に必要な要素が凝縮されています。

貯蓄銀行業/キャピタル事業/債権回収事業

貯蓄銀行業



キャピタル事業



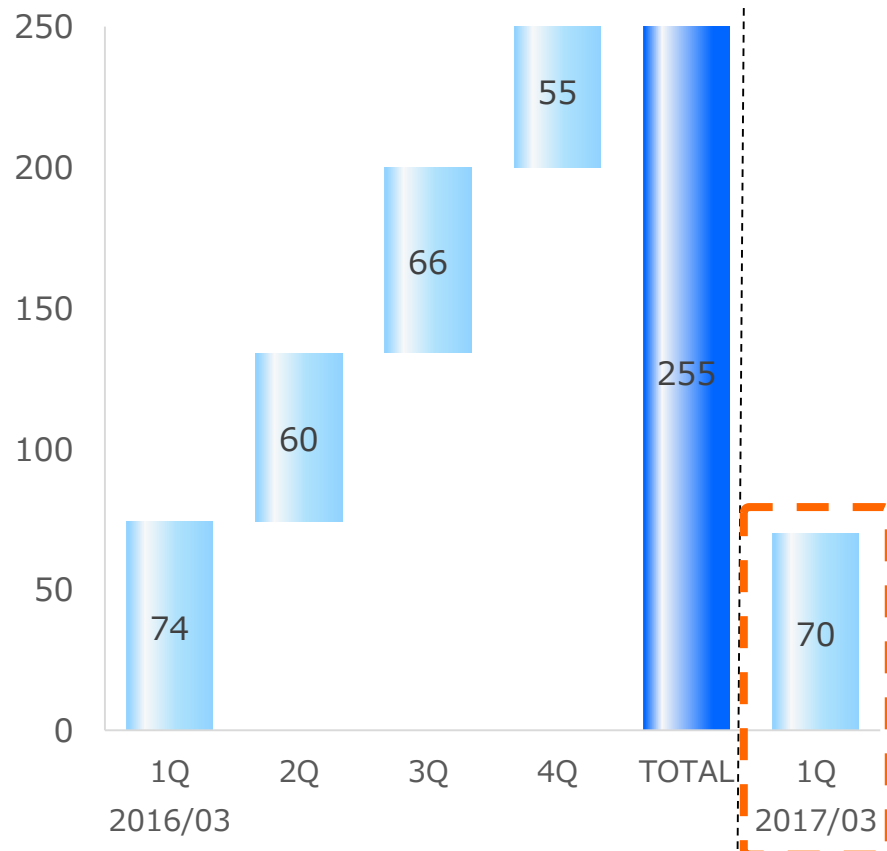
債権回収事業



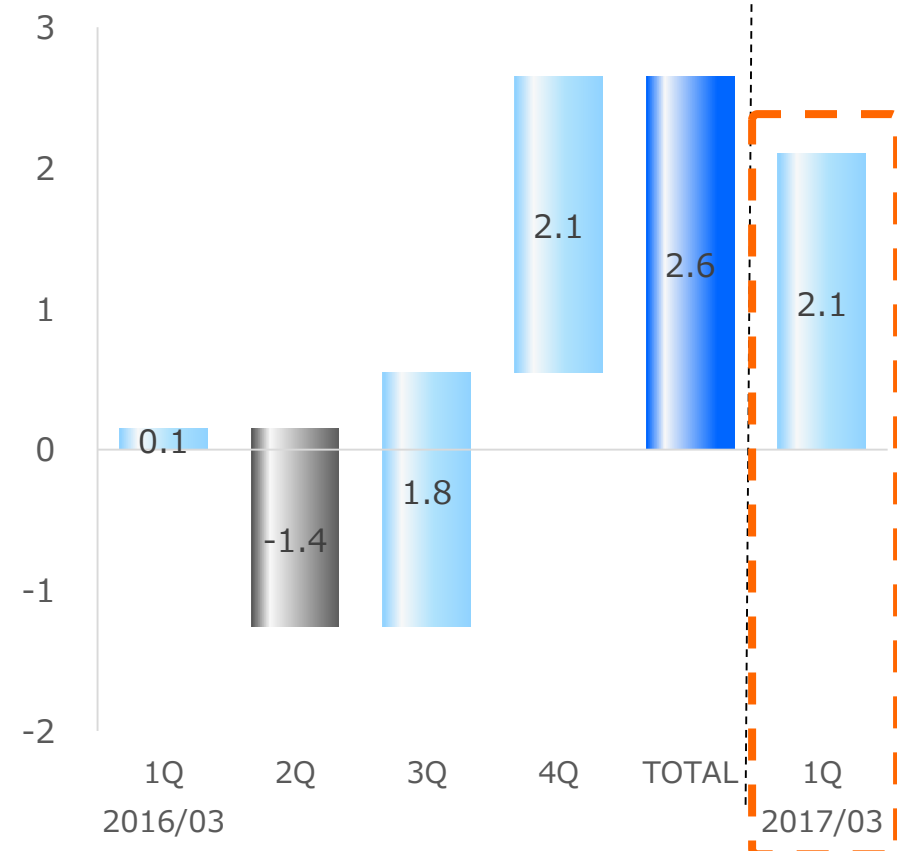
前期より安定した利益を創出

単位：億円

営業収益



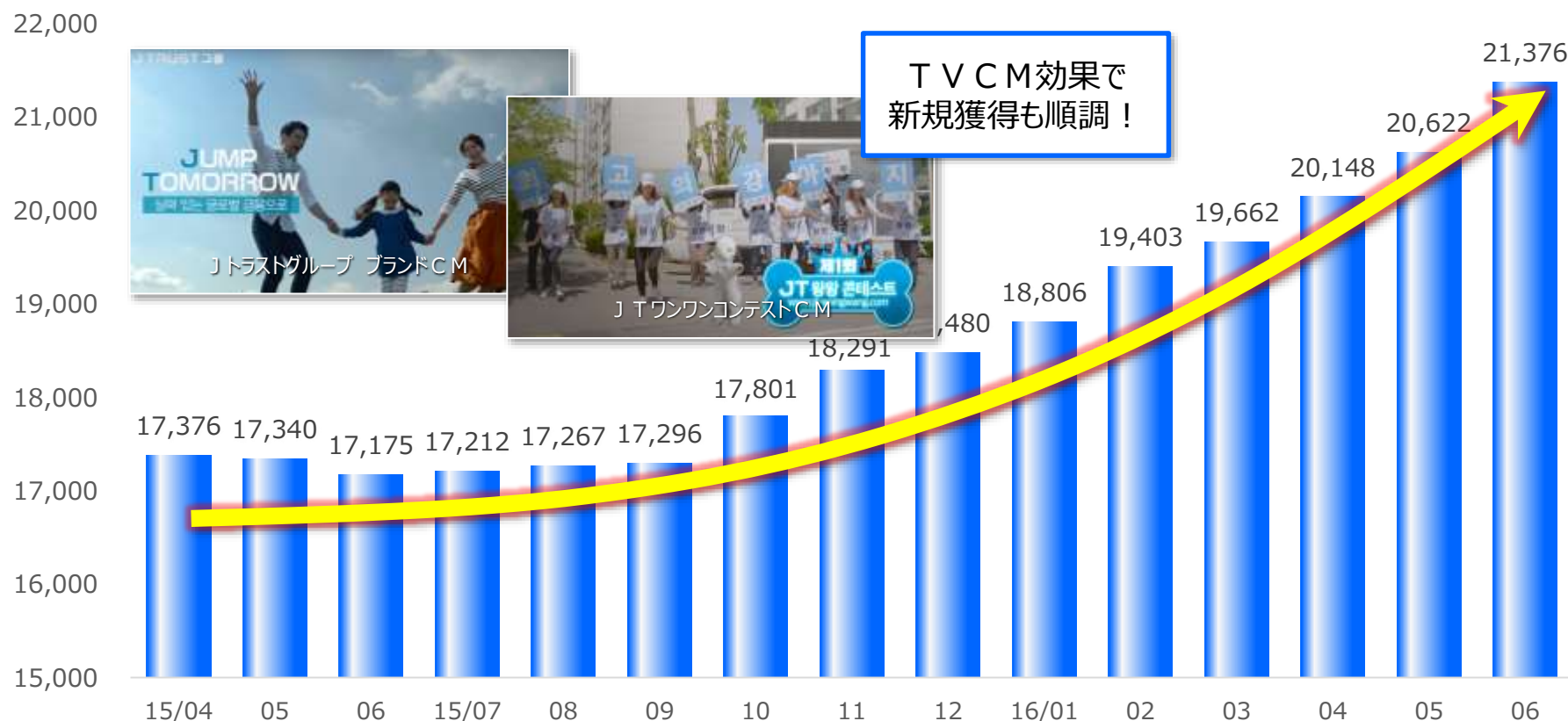
営業利益（損失）



2016年4月には貸付金残高2兆ウォンを突破

貸付金残高推移

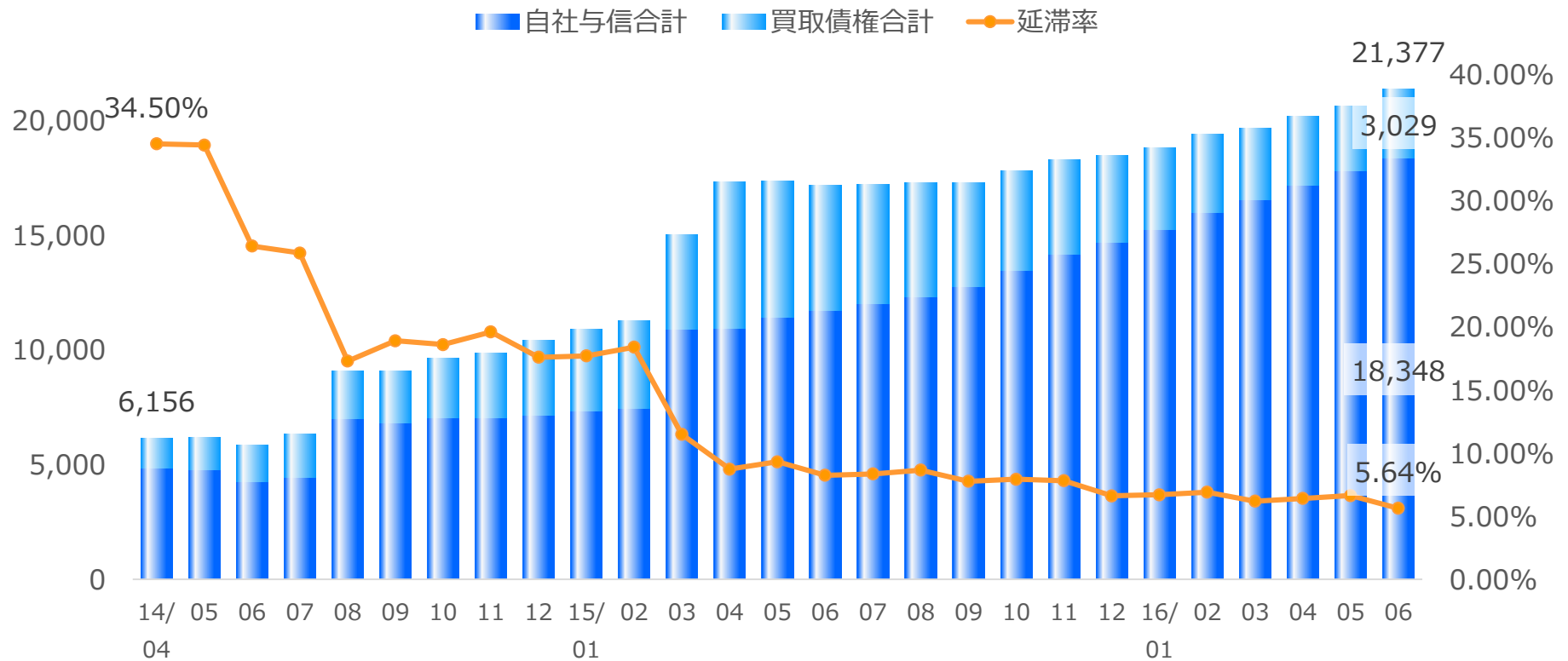
単位：億ウォン



不良債権も低位で安定推移

貯蓄銀行/キャピタルの残高および30日以上延滞率の推移

単位：億ウォン



2年半で通期黒字に

 JT 親愛貯蓄銀行

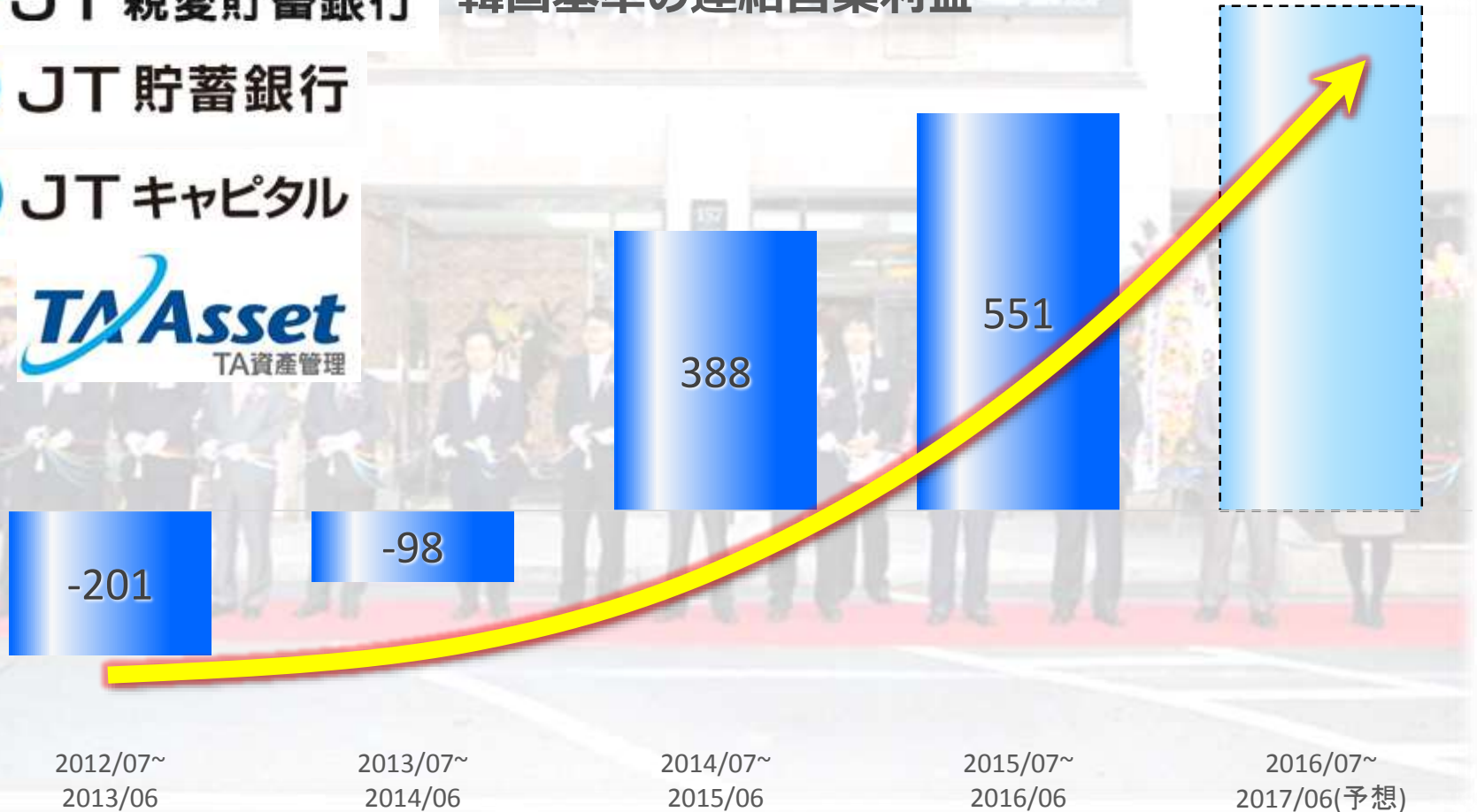
 JT 貯蓄銀行

 JT キャピタル

 TA Asset
TA資産管理

韓国基準の連結営業利益

単位：億ウォン



※ 韓国内JTトラストグループ4社の単純合計
※ グラフ内、点線内の数値は予想数値

全貯蓄銀行中“一番”の称号

ファーストブランド大賞

➤ ファーストブランド大賞とは・・・

2016年度ファーストブランド大賞受賞、貯蓄銀行部門(79行中)第1位を獲得(全54部門)
韓国消費者からの高い評価・支持を得て大きく成長
日本企業の選定はセブンイレブンとJT親愛貯蓄銀行の2社のみ



コンプライアンスを最重要課題として位置づけ

アジュ経済金融証券大賞

➤ アジュ経済金融証券大賞とは・・

2015年12月、グローバル総合経済誌アジュ経済による『アジュ経済金融証券大賞』において『信頼経営部門』の大賞を受賞

本賞は、韓国内の全金融業界が対象

お客さまとの信頼関係構築と徹底したコンプライアンス体制による経営の透明性向上で、**信頼できる企業である事が認められた**



アジュ経済対象授賞式



社内教育の風景

人口2億5千7百万人の“優位性”を活かす

銀行業



債権回収事業

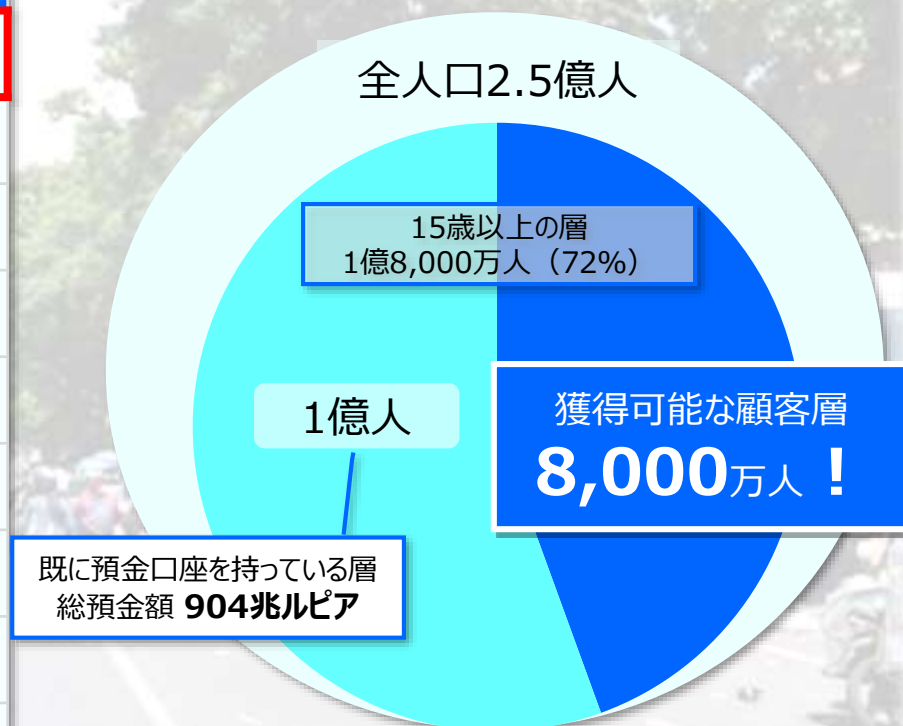


インドネシアのポテンシャル

東南アジアの人口と平均年齢

国名	人口	平均年齢
インドネシア	2億5,756万人	27歳
フィリピン	1億0,070万人	24歳
ベトナム	9,345万人	30歳
タイ	6,796万人	38歳
ミャンマー	5,390万人	27歳
マレーシア	3,033万人	28歳
カンボジア	1,558万人	23歳
ラオス	680万人	21歳
シンガポール	560万人	40歳

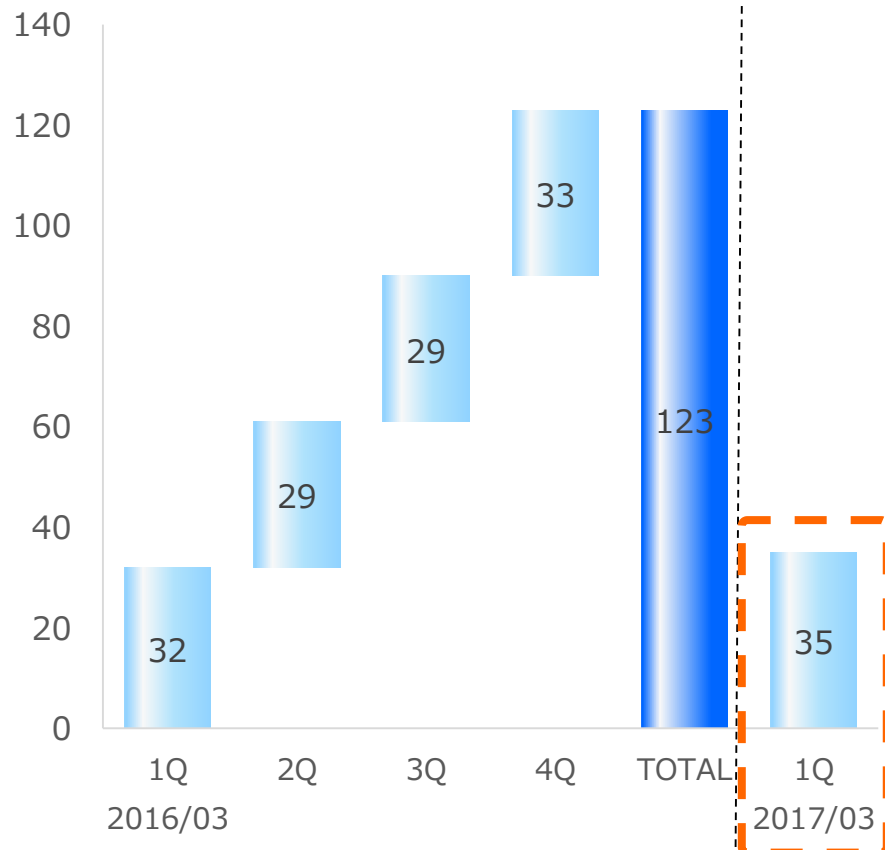
Jトラストインドネシア銀行のターゲット層



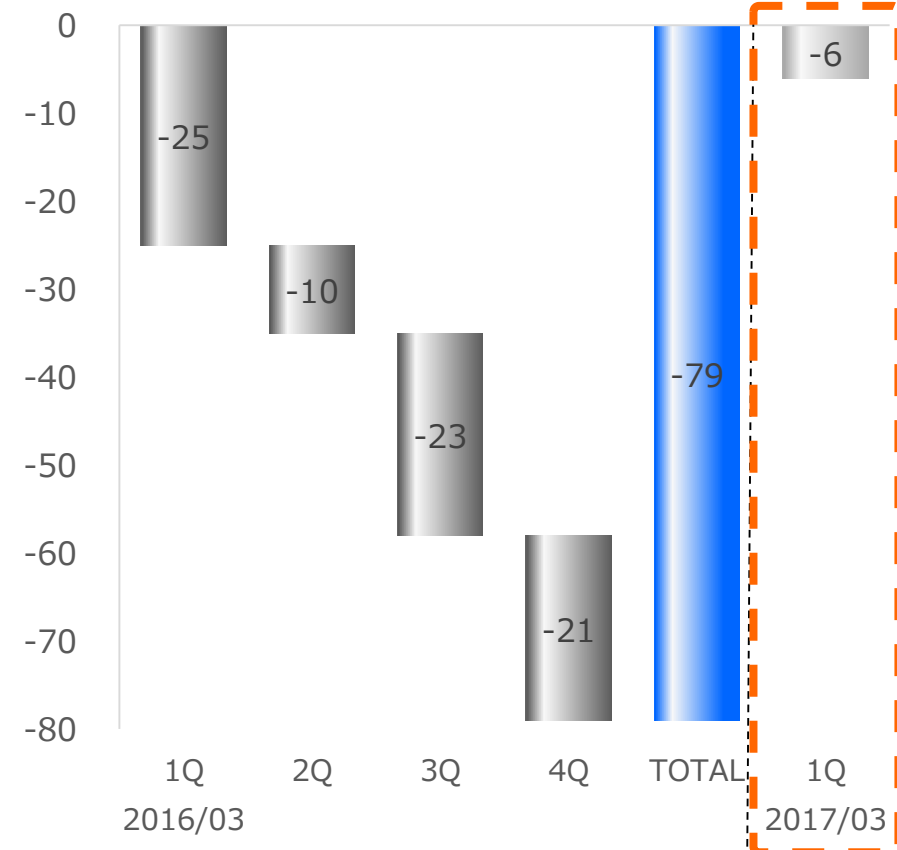
収益は増加 利益も改善へ

単位：億円

営業収益

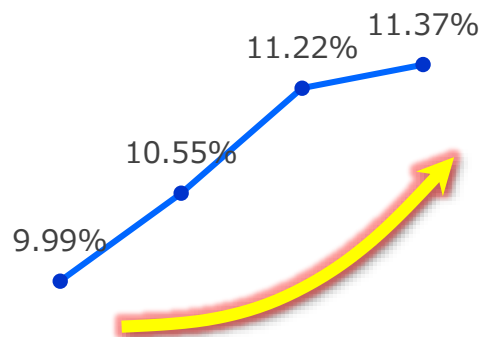


営業利益（損失）

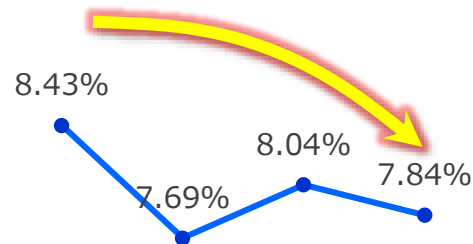


純金利収入（金利収入-利息費用）は着実に増加

平均貸出金利

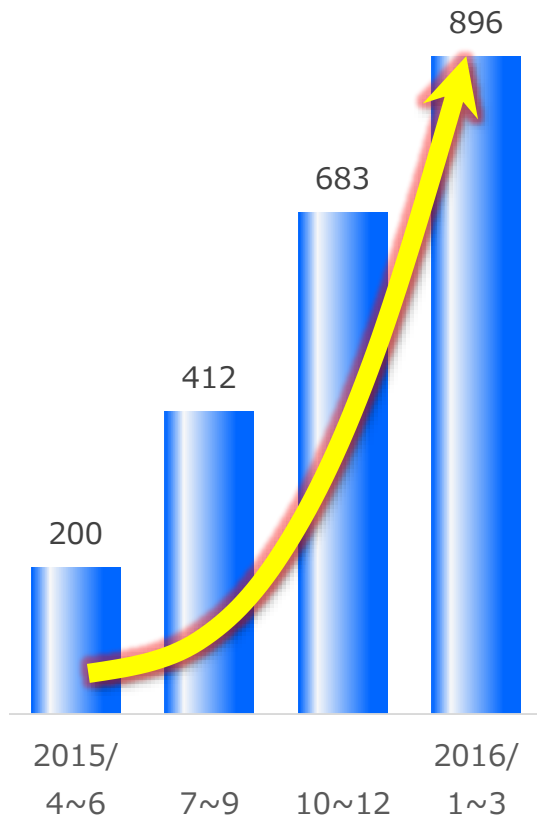


平均預金金利



純金利収入

単位：億ルピア



2015/
4~6 7~9 10~12 2016/
1~3

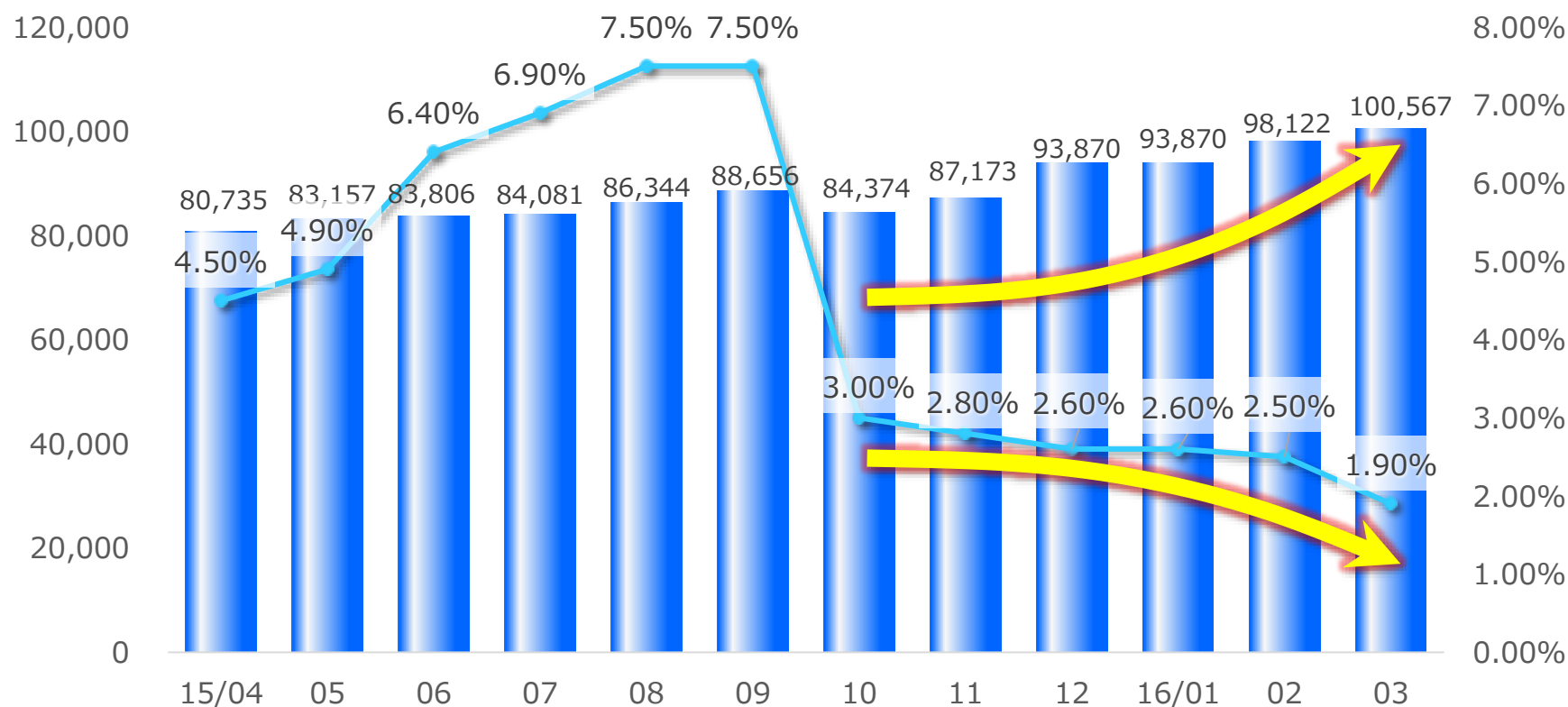
2015/
4~6 7~9 10~12 2016/
1~3

2015/
4~6 7~9 10~12 2016/
1~3

営業資産は増加し、不良債権は抑制に成功

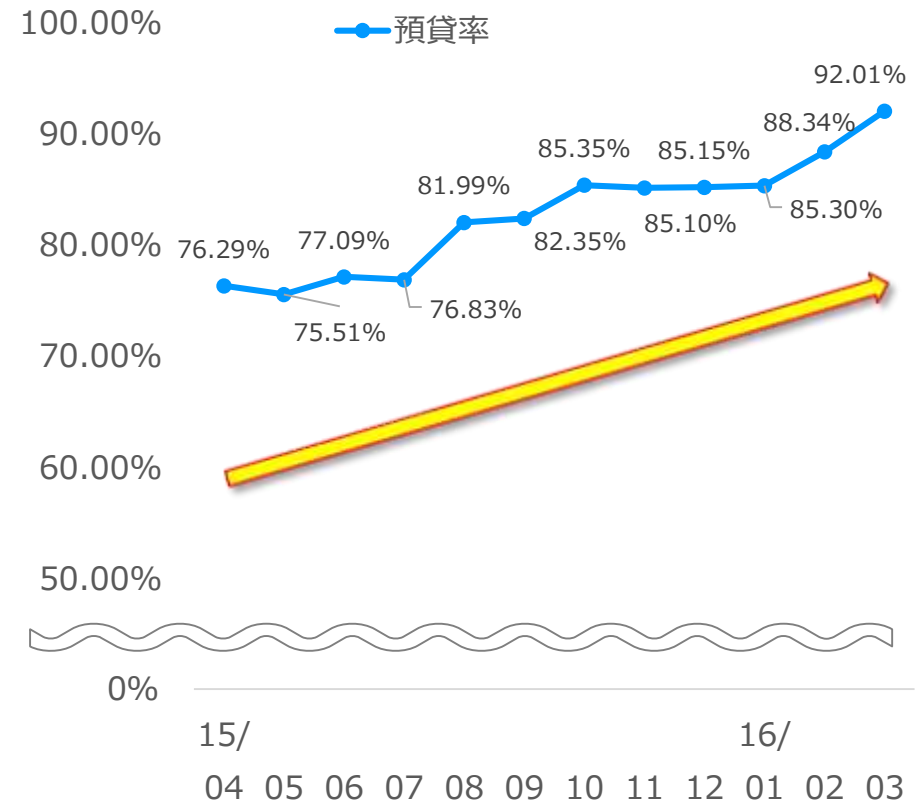
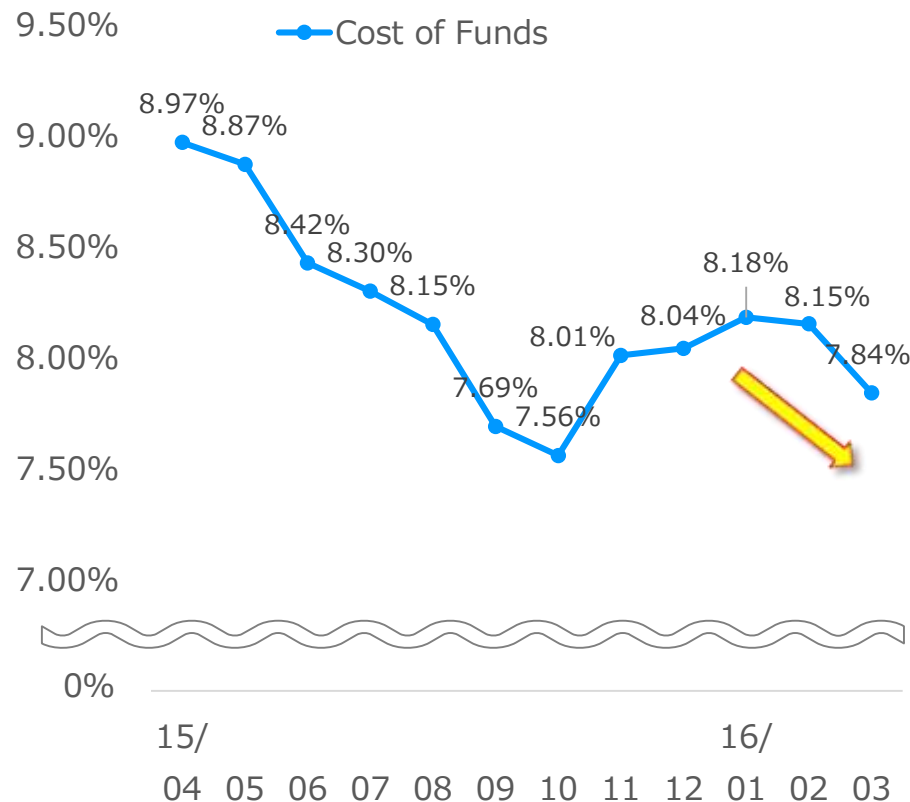
営業資産残高と不良債権比率の推移

単位：億ルピア



利益が出る営業体質へ、取り組み強化

COF(Cost of Funds)および預貸率の推移



※COF = 資金調達コストのこと

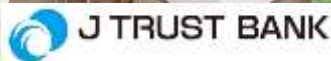
グループリース*との協業“GLFI*”がスタート！

インドネシア国内に販売拠点を設置 **割賦販売を通じて社会に貢献**

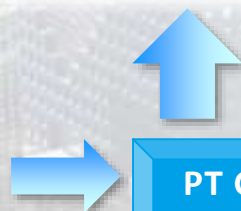
インドネシアの家庭内インフラを提供



インドネシアの
13,000を超える
島々を含めた地方に
簡易な販売窓口を
多数設置



チャネリング手法を使用したJトラ
ストインドネシア銀行からの融資



**PT Group Lease
Finance
Indonesia**



農機具・太陽光パネル・住
宅建築・白物家電などを、
一般消費者に販売



※グループリース：タイ証券取引所上場のリース会社

タイ・カンボジア・ラオスにおいて日本製オートバイリース等の専業会社として展開

※GLFI：グループリースファイナンスインドネシアの略

3. 事業紹介/東南アジア金融事業

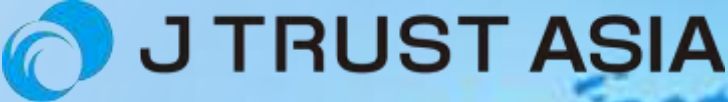


グループ・リースとの協業による 利益イメージ

	2018年	2019年	2020年
GLFIを通じたJトラスト・ベトナム銀行の 融資残高	1,000億円	2,000億円	4,000億円
上記から得られるJトラスト・ベトナム銀行の 利益（4%） ^①	40億円	80億円	160億円
GLFIの利益水準	200億円	400億円	800億円
GLFIがもたらす持ち分利益（20%） ^②	40億円	80億円	160億円
① + ② = GLとの協業がもたらす利益	80億円	160億円	320億円

※ 本データは利益創出のイメージをわかりやすく表示した数値であり、
実際の業績計画とは異なります。

シンガポールを拠点に投資活動を推進

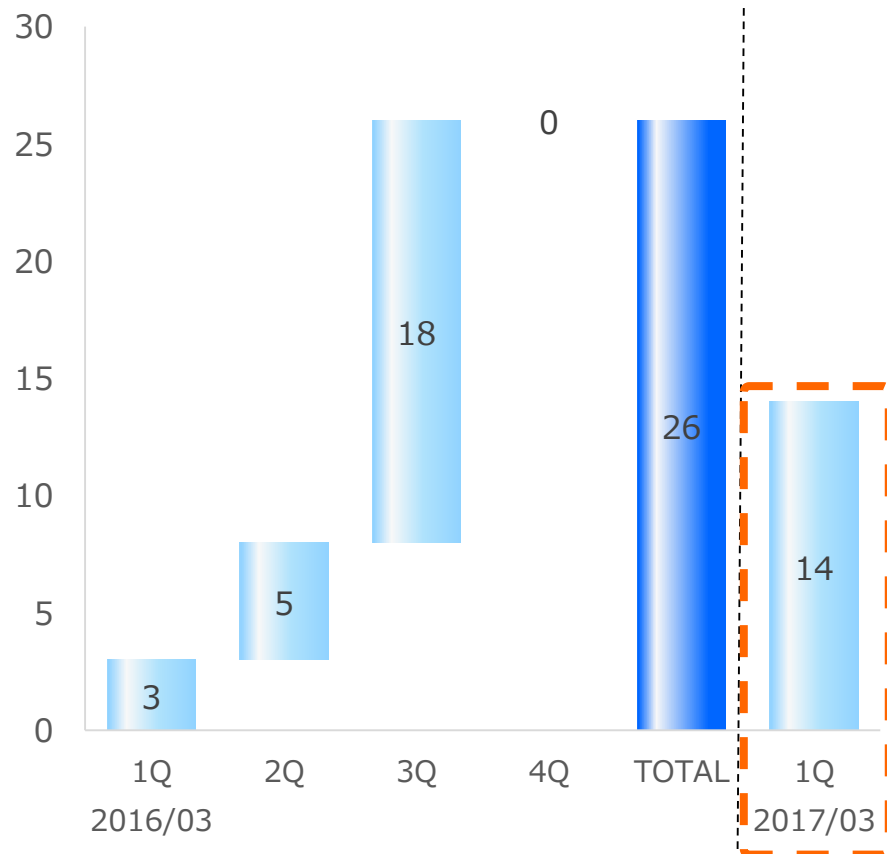


- マヤパダ銀行株の売却により、今期既に約14億円の収益を計上
- GL社の転換社債を引き受け、今期約8億円の利益を見込む

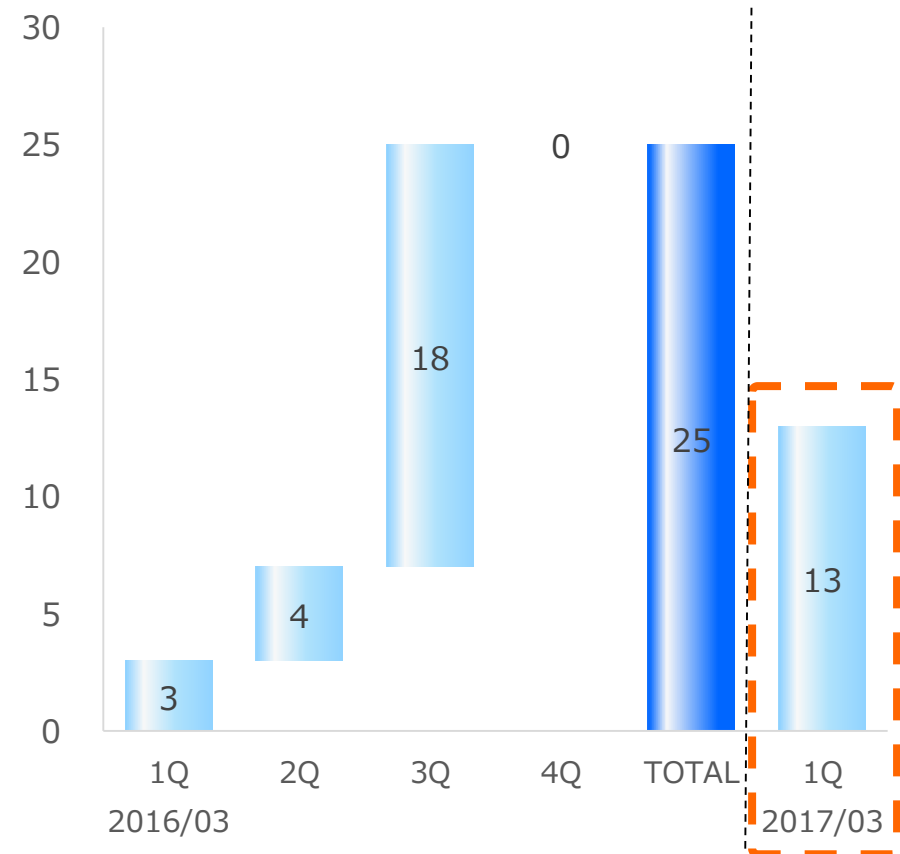
マヤパダ銀行株の売却等で、既に13億円の利益を計上

単位：億円

営業収益



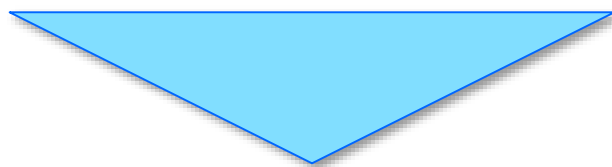
営業利益



2015年12月30日 GL社の転換社債を株式転換

- 転換株式数：98.1百万株 1株 = 18バーツ（53億49百万円）
- 2016年8月31日株価 1株 = 41バーツ（119億76百万円）

差額：約66億円→「含み益」



投資事業に対する「目利き力」

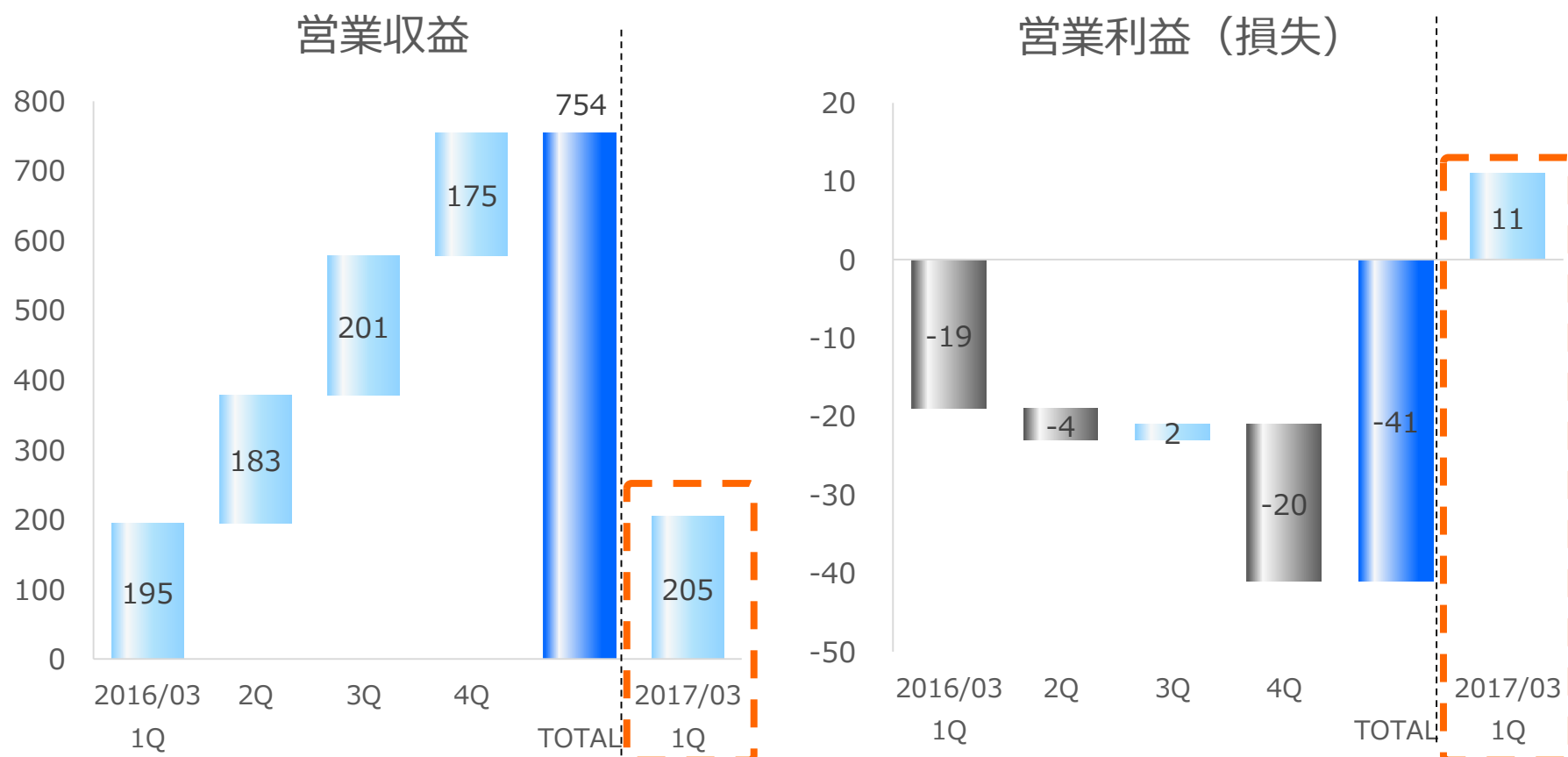
4. 2017年3月期 第1四半期連結業績

- | | |
|----------------|---|
| I. 国内金融事業 | <u>堅調</u> 通期計画上乘せを目指す |
| II. 韓国金融事業 | <u>事業は順調</u> 連結取込み時の会計上の問題も低減し、安定した黒字が定着 |
| III. 東南アジア金融事業 | <u>経常的な月次黒字化</u> に向けて
取り組み強化中 |
| IV. 投資事業 | 連結業績に大きく貢献 |

営業収益は過去最高 営業利益は前年同期比30億円増益

連結サマリー（四半期毎 営業収益・営業利益の推移）

単位：億円



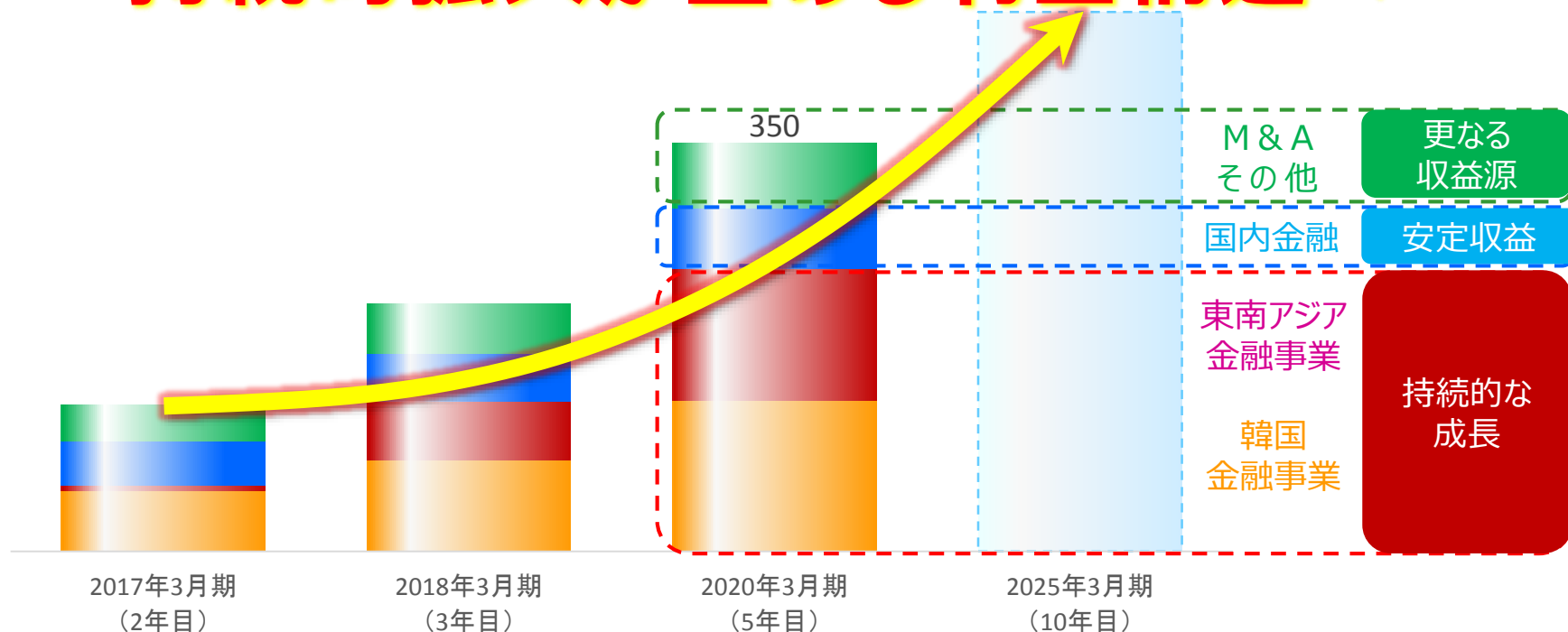
5. 将来の利益構造

2020年 営業利益350億円を目指す

営業利益の推移（予想）

（単位：億円）

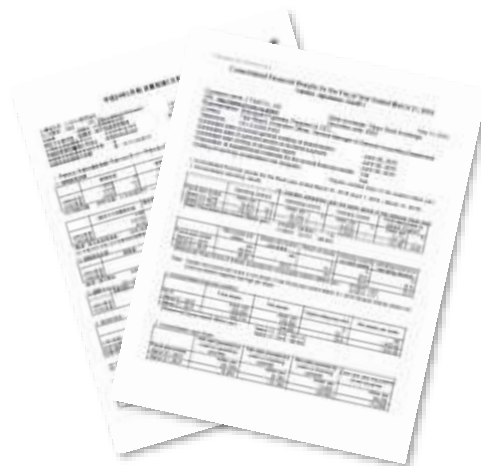
海外銀行業中心の 持続的拡大が望める利益構造へ



6. 投資家の皆様への取り組み

投資家の皆様への積極的な取り組み

- 決算の都度、**四半期毎に決算説明会を実施**（以前は半期に1度）
- 決算説明会動画は、**日・英2か国語で掲載**（英語は吹替え・字幕版両方）
- 決算・ニュースリリースは**日本語・英語を同時に開示**
- 決算説明資料・決算補足説明資料に加え、**月次データの開示**も開始
- **個人投資家向け説明会**の積極的な開催
- **IRイベント**への出展



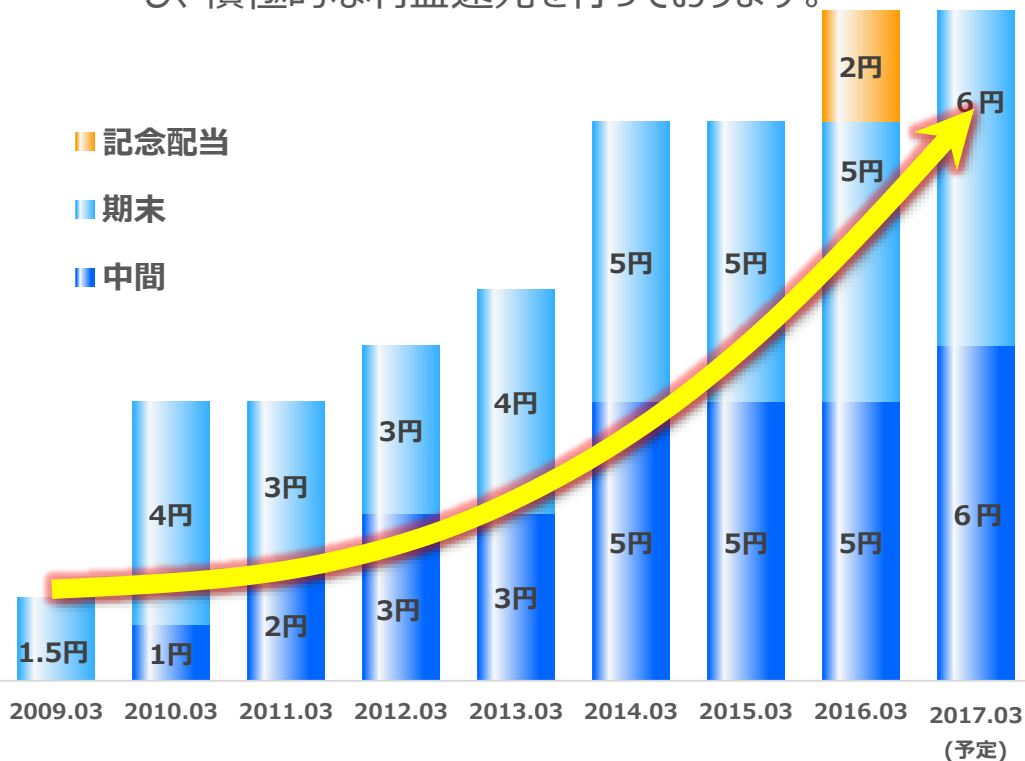
過去1年間の自社株買い実績

	取得株式数	取得割合	取得価額総額
2015年11月11日	6,250,000株	5.56%	62億64百万円
2016年8月15日	6,000,000株	5.33%	49億26百万円
2016年8月16日	3,188,300株	2.83%	23億52百万円
合計	15,438,300株	13.73%	135億43百万円

※ 取得割合は2016年6月末現在の
発行済み株式数112,471,074株を分母に算出

配当政策

- 株主様に対する利益還元を経営の最重要課題の1つと考えております。配当につきましては、安定配当という考え方を重視しますと共に、将来の経営環境や企業成長に必要な投資などを総合的に勘案し、積極的な利益還元を行っております。



年度	年間配当金	中間配当金	期末配当金	配当性向 期末(%)
2017年 3月期 (予定)	12円	6円	6円	14.0%
2016年 3月期	12円	5円	7円	—
2015年 3月期	10円	5円	5円	11.6%
2014年 3月期	10円	5円	5円	9.1%
2013年 3月期	7円	3円	4円	3.3%
2012年 3月期	6円	3円	3円	1.0%
2011年 3月期	5円	2円	3円	9.2%
2010年 3月期	5円	1円	4円	7.2%
2009年 3月期	1.5円	-	1.5円	26.9%

2016年3月期の配当性向は、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

写真集



韓国事業



東南アジア事業



参考資料

会社概要 (2016年8月31日現在)			
商号	Jトラスト株式会社 英語表記 : J Trust Co.,Ltd.		
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号		
URL	http://www.jt-corp.co.jp/		
事業内容	ホールディング業務		
設立	1977年（昭和52年）3月18日		
資本金 (2016年6月末現在)	536億円		
社員数 (2016年6月末現在)	3,199名 ※連結子会社含む		
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部 （証券コード : 8508）		
発行済み株式数	112,493,674株	配当利回り	1.53
株価	785円	PBR (株価純資産倍率)	0.54
時価総額	883億円	EPS (2017年3月末予想)	85円56銭



本社ビル (東京 虎ノ門)

メール配信サービス

メール配信サービスのお申し込みは、当社ホームページ

<http://www.jt-corp.co.jp/>

にアクセスしていただき、『トップページ』の『メール配信サービス』ボタンからお入りください。

携帯からのお申し込みは、下記のコードを読み取り、必要情報を入力のうえ、送信してください。



IRアプリ

App Storeからのダウンロード方法

①iPhone/iPadの「App Store」で【[Jトラスト](#)】と検索して下さい。

②QRコードから直接読み込んでください。



Google Playからのダウンロード方法

①Android OS端末の「Google Play」から【[Jトラスト](#)】と検索して下さい。

②QRコードから直接読み込んでください。





ありがとうございました

